令和3年度 第2回港区区政会議 福祉部会 議事録

- 1 日 時 令和3年11月18日(木)午後6時30分～
- 2 場 所 港区役所5階会議室
- 3 出席者(委員) 池西委員、牛島委員、大平委員、加藤委員、讃井委員、
高瀬委員、武内委員、山田委員、
(関係者) 港区地域支援調整チーム 藤原氏
港区民生委員児童委員協議会主任児童委員連絡会 森田氏
(港区役所) 筋原港区長、近藤産業振興担当課長、
石田保健福祉課長、瓦保健・子育て支援担当課長、
朝間生活支援担当課長、桐谷窓口サービス課長、
橋本保健福祉課長代理、峯保健・子育て支援担当課長代理、
岸本保健副主幹、三宅生活支援担当課長代理
- 4 議 題 議長・副議長の選任について
令和3年度施策・事業の中間評価について
令和4年度施策・事業について
その他

○橋本保健福祉課長代理 ただいまより港区区政会議、福祉部会を始めさせていただきます。

本日は部会の議長、副議長をご選任いただきますので、それまでは区役所のほうで進行をさせていただきます。私は、本日の司会を務めさせていただきます港区役所保健福祉課長代理の橋本でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、最初に区長の筋原より一言ご挨拶を申し上げます。

○筋原区長 皆さん、こんばんは。港区長の筋原です。

本日はご家庭のご用事やお仕事でお忙しい時間帯にもかかわらず、お集まりをいただきまして誠にありがとうございます。

今日、最初の新しいメンバーでの福祉部会ということでございます。初めてなので、区政会議のことについて簡単にご説明を申し上げます。

お手元の資料の1ご覧ください。

区政会議は、地域の活動団体から推薦を受けた方や公募による委員で構成をされておりまして、主に港区の運営方針やまちづくりビジョンであるとか、また、来年の予算とか、ほかにも区政のいろんな施策に対して評価をいただいたりご意見をいただいたりしまして、また、いろんなニーズをいただいて、それを次の年の予算とか、施策の執行の仕方に反映をさせていただくという仕組みでございます。

資料1の裏をめくってください。

ここに区長の位置づけというのを書いております。私は港区長として、この港区役所の事務を総括しております。同時に、区のシティ・マネージャーというのも兼務をしています。これは区CMというのですが、区のシティ・マネージャーというのは、港区の中のいろいろなこと、例えば道路の管理でいうと建設局の工営所、市岡工営所がやっていたり、街路樹の管理は八幡屋の公園事務所がしていたりとか、いろいろな局が関わっています。そこでも港区内の基礎自治に関する施策は、建設局とか港湾局も関わっていますけれども、私が局長を指揮・監督する立場にあって、例えばここの道路が傷んでいて修理しないと危ないというようなことを区役所、私に言っていただいたら、すぐ工営所に指示しますし、樹木が育ち過ぎて信号が見えないとか、この木を切らなければいけないとかいうようなことがあったら、公園事務所に指示をしたりもします。もちろん直接局に言っていただいても受けてはくれますけれども、複数の区を局は見ているので、対応するのに調整が要るときもありますけれども、大体言っていただいたらすぐしてくれます。ですので、これ役所のどこに言ったらいいかということがあったら、まず区役所にご相談いただいたらということですよ。

それから、あと教育に関することは、大阪市は教育長がトップで教育委員会というところがしており、教育長の下に教育次長という名前がついているのですが、私は港区担当教育次長として、これは教育の全ての権限ではないのですけれども、ある一部分の権限については港区の区担当教育次長として指示を出すことができるという仕組みになっております。いろいろな、特に各小学校、中学校と教育委員会との間の調整などもうちの区役所の教育担当のメンバーでしております。

本日ですけれども、議長、副議長をご選任いただいた後、議題としては、今年度実施しています施策の中間の評価を、中間振り返りをご報告させていただきたいと思います。それから令和4年度の施策について、主に新しく実施することについて、ポイントを絞ってご説明して、ご意見をいただきたいと思います。

トピックでいうと、やっぱりコロナの対応、今、3回目のワクチン接種の話も出ているわけですが、ファイザーが2か月前倒しということで、実は2か月前倒しになると12月の頭から始まるということですが、全然日がないです。また、国のほうもそこまで具体的にまだ決まっていなくて、今の時点でワクチンは、集団接種が4か所あって、2か所がファイザー、2か所がモデルナです。毎日しているところと土日だけのところとあるのですけれども、多分そこがまた3回目の接種をどこかが引き継いで集団接種の会場ですのと、それとあとは各医療機関の個別接種とで併せてすることになるのじゃないかなということで今調整中ですが、まだ大阪市の健康局のほうも一所懸命、早急にできるようにしないといけないということで調整中という、まだご報告できる状態ではないのですけれども、またこれは決まり次第、いろんな方法でご周知したいと思っております。

今日はそういうコロナの話も含めて、ポイントを絞ってご説明したいと思いますので、よろしく願いをいたします。ありがとうございます。

○橋本保健福祉課長代理 ありがとうございます。

続きまして、現在の部会の開催状況をご報告させていただきます。

委員の出席状況ですが、委員の定数が10名のところ、ただいま7名のご出席をいただいております。本会の条例第7条第5項に定めております委員の2分の1以上の出席がございますので、有効に成立していることをご報告いたします。

この会議は公開となっており、後日会議録を公表することになっております。そのため、会議の内容を録音させていただきますので、ご発言の際はマイクの使用をよろしくお願いいたします。また、コロナの予防対策で、マスクの着用、手指の消毒などをお願いしております。

す。マイクの受渡しの際はその都度消毒を行い、出入口は換気のため開放しております。もし会議中に体調に異変がございましたら、遠慮なくお申し出ください。

本日の資料につきましては、説明をするたびに確認をさせていただきます。資料がお手元がない場合は、挙手してください。事務局よりお持ちいたします。

それでは、今回新たに委員の選定がされていますので、各委員の関係者の方の自己紹介をお願いします。恐縮ですが、左側の方から時計回りで順番にお願いいたします。

すみません、池西委員、よろしくお願いいたします。

○池西委員 弁天地域から来ました池西郁子です。地域活動をやらせていただいております。よろしくお願いいたします。

○牛島委員 田中地区から参りました牛島と申します。民生委員児童委員協議会から出ております。

○大平委員 市岡地域活動協議会のほうで副委員長をさせていただきます市岡地域の
大平です。よろしくお願いいたします。

○加藤委員 こんにちは。お世話になっております。港区社会福祉協議会の加藤でございます。子育て支援専門部会からの選出になっております。どうぞよろしくお願いいたします。

○讚井委員 こんにちは。港区歯科医師会の讚井です。よろしくお願いいたします。

○高瀬委員 高瀬裕子と申します。波除地域活動協議会のほうから出させていただきます。よろしくお願いいたします。

○武内委員 こんにちは。磯路地域活動協議会の武内律子です。よろしくお願いいたします。

○藤原オブザーバー こんにちは。私は港区地域支援調整チームの藤原と申します。主に障がい福祉の専門家ということでこの場に参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

○森田オブザーバー こんにちは。オブザーバーとして参加させていただきます港区民生委員児童委員協議会主任児童委員連絡協議会の港区代表をしております森田と申します。よろしくお願いいたします。

○橋本保健福祉課長代理 皆様、どうもありがとうございます。

区役所の職員につきましては、福祉部会の配席図をまた後ほどご確認いただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、本日の議事に入らせていただきます。

まず、議題1、議長及び副議長の選任につきまして、事務局より提案をさせていただきます

す。

○石田保健福祉課長 皆様こんばんは。事務局、保健福祉課長、石田でございます。

そうしましたら、早速でございますが、港区区政会議運営要綱第5条第3項に基づき、委員の皆様の互選により、区政会議福祉部会の議長及び副議長を選任いただきたいと考えております。委員の皆様、立候補、ご推薦などございましたらお願いしたいと思っております。

○牛島委員 港区歯科医師会の讃井先生にお願いできたらなと思っておりますが、いかがでしょうか。

○讃井議長 議長に選任されました讃井です。よろしくお願いいたします。

区政会議の議事においては、委員の互選において副議長を選任するものとなっておりますが、ここで併せて副議長のご推薦はございますでしょうか。

ないようでしたら、私のほうから加藤委員を副議長に推薦させていただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

○石田保健福祉課長 ありがとうございます。

それでは、委員の皆様の互選によりまして、讃井委員を議長に、加藤委員を副議長に選任いたします。議長、副議長におかれましては、一言ずつご挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○讃井議長 改めまして、皆さん、こんばんは。議長に選任いただきました讃井です。港区歯科医師会で今、会長をさせていただいています。ただこういう会議はかなり不慣れで、まだまだ若輩者ではありますが、皆様のご協力をいただき、また、副議長の協力を得ながら、会議が円滑に、スムーズに進みますように、皆さん、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

○加藤副議長 皆様、こんばんは。改めまして、副議長に選任いただきました港区社会福祉協議会の加藤でございます。いつもお世話になりましたありがとうございます。本当に微力ではございますが、讃井先生がしっかりしていただいておりますので、少しでも議長の力になれるように努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○石田保健福祉課長 それでは、ここからの進行につきましては、讃井議長にお任せしたいと思います。

それでは、讃井議長、よろしくお願いいたします。

○讃井議長 それでは、議題に入ります。

議題2の令和3年度の施策・事業の中間評価について、事務局より説明をお願いいたします。

す。

○石田保健福祉課長 事務局、保健福祉課長、石田でございます。改めましてご説明させていただけたらと思います。

それでは、議題の2、令和3年度施策・事業の中間評価について、それぞれ順次担当のほうから説明申し上げたいと思います。資料といたしましては、事前に送付させていただいております令和3年度港区運営方針に関する中間振り返りの概要版、こちらに基づきご説明させていただきたいと思いますが、お手元に資料のほうは、皆様、ございますでしょうか。そうしましたら、説明を始めさせていただきます。

それでは、資料をめくっていただいて、右下のほうに小さい数字ですけれども、ページが付番されております。そちらの、まず9ページをお開きいただきたいと思います。

こちらはいわゆる経営課題3ということで「健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」、こちらは戦略としまして5つの事項がございます。全て中身をご説明しますとちょっと時間がかかりますので省略はさせていただきますが、まず、経営課題3の下に戦略3-1とごさいまして、地域福祉の推進ということがございます。こちらは経営課題3自体に5つの事項がございますけれども、まず、その3-1について説明させていただきますが、その下に左に記載しております具体的取組、これが1、2、3というふうにあります、ここから次のページ、その次のページといきまして、12ページ、ここまで続いております。

今年度の進捗状況につきましては、全ての具体的取組につきまして、目標達成見込み、予定どおり進捗しているところでございます。

そして、今お開きいただいております12ページをそのままご覧いただけますでしょうか。

こちらは戦略の3-4、健康寿命の延伸ということでございます。

そもそも、まず健康寿命の延伸とは、健康上の問題によって日常生活が制限されずに暮らせる期間ということで、いわゆる平均寿命とは違うものでございます。こちらにつきましては、今後開催予定の2025年大阪万博の理念にもなっております。

その具体的取組の下のほうの2番のところですが、こちらはがん検診・特定健診の受診率の向上ということで、いかにがん検診が重要かということにつきましては、早期発見が早期治療につながるということでございます。そういった受診率の向上に向けまして、大阪市の「すこやか大阪21」の計画の中でも受診率の向上が挙げられているところでございます。

私ども保健福祉センターでは、毎年実施しているのですが、こちらは集団検診の受診ということになりまして、前年度、今年度も引き続きそうなんですけどコロナの影響がござ

いまして、できるだけ密を避けないといけないという形で実施をしております。そのために例年セットしております集団受診の枠を2分の1から、どうしてもやっぱり3分の1ぐらいに減らしてはいるのですけれども、受診率の向上という意味でいきましたら、例えば南市岡の地域の方などのご協力等もありまして、ほかの区につきましてはやはりコロナの影響で受診率も下がっているところですが、港区全体につきましては、増加とまではいきませんが、ほぼ横ばいの状態で、おかげさまで続いておるといようなところがございます。

そうしましたら、続きまして、子育て支援担当の瓦のほうから、ご説明させていただきます。

○瓦保健・子育て支援担当課長 保健・子育て支援担当課長の瓦でございます。

では、同じ資料の14ページをご覧くださいませでしょうか。

14ページが経営課題4、「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまちづくりということになっておりまして、下の15ページの下、戦略4-2「子育て世代」の応援として次のページと併せて3つの取組を実施しておりますが、その中でも15ページの下、2番の子育て支援情報の提供についてご説明させていただきたいと思っております。

日頃より様々な子育て情報というのは、広報紙やホームページ、ツイッター等、また、様々なチラシ等で発信をさせていただいているところがございますが、昨年度から続きますコロナ禍においては、さらに丁寧な情報発信が重要と考えまして、今年度新たに取り組んだことといたしまして、毎年4月に保育所に新しく入所される方がどの保育園にしようかなと思われるときに、保育所に見学に行かれるのですけれども、やはりこのコロナ禍ですので、保育所のほうが見学を中止されているというケースが多くございましたので、担当のほうで、区内の保育施設を順次回りまして紹介動画を作成いたしまして、それを区のホームページ等、また、分かりやすい保育所の入所説明資料というのも作りまして、ユーチューブ等で発信させていただいております。

また、外国人の方の子育て世帯も増えておりますので、なかなか全ての言語でのいろんな情報発信は難しいので、やさしい日本語による子育て情報の発信というところも今年度力を入れて取り組んでいるところがございます。

以上でございます。

続きまして、生活支援のほうで説明させていただきます。

○朝間生活支援担当課長 生活支援担当課長の朝間でございます。よろしくお願いたします。

私からは、資料の11ページにございます6番、生活困窮者対応の充実につきましてご説明させていただきます。

項目としてはこれ1つだけですけれども、新型コロナウイルス関連で相談者が、昨年度、令和2年度につきましては600件を超えておりましたが、今年度につきましてはこちらに記載がありますように、やや落ち着いております、8月末現在で264件ということになっております。昨年度は、やはりコロナの影響で生活保護も増えるかなと思っていたのですけれども、こちらの生活困窮者対応のほうが比較的受皿となって、生活保護の受給者が増えるというようなことはございませんでした。

ただ、引き続きコロナの状況、どうなるかは経済状況もかなり分からない部分もございしますので、油断なく対応していきたいと思っております。

項目の中にありますように、合同ビラまき、これは何かということでもございますけれども、まだまだ生活保護、あるいは困ったときに相談する窓口がどこにあるのかというのが分からない区民の方々もたくさんおられますので、具体的には各戸配布、制度の紹介です。これは区社協でありますとか民生委員のご協力もいただきながら、地道に活動を引き続き行っていきたいと思っております。

私からは以上でございます。

○石田保健福祉課長 議題2の令和3年度施策・事業の中間評価につきましてのご説明は以上でございます。

○讚井議長 ありがとうございます。

引き続き、議題3、令和4年度の施策・事業について、事務局から説明をお願いします。

○石田保健福祉課長 それでは、引き続きまして、議題3、令和4年度施策・事業につきまして、こちらも担当から順次説明させていただきます。資料といたしましては、お手元に配付させていただいております資料4、令和4年度港区運営方針、こちらに基づき、新規の取組、また、主なものにつきましてご説明させていただきたいと思っております。

お手元に資料はございますでしょうか。ありがとうございます。

これは全ての中身が入っていますのでちょっと分厚うございますが、それでは、資料をめぐっていただいて、まず、21ページをお開きいただきたいと思っております。

21ページの真ん中辺りに具体的取組3-1-1とございます地域福祉活動計画の推進支援という項目でございますけれども、こちらにつきましては、各地域で策定されました令和元年度からの新しい地域福祉活動計画の内容が地域で根つき、また、活動が着実に推進される

よう、引き続き支援を行いまして、目標としましては、身近な地域福祉活動について、知っている区民の割合を70%以上というふうに見ております。

こちらの内容に関連しまして、ページは戻るのでありますが、17ページをお開きいただきたいと思っております。

こちらの災害時の避難行動要支援者への取組ということと先ほどの内容がリンクいたしております。こちらの取組内容につきましては、地域におけます要支援者の見守りネットワークを強化事業として、要支援者名簿を用いて見守りが必要な方を日頃から把握していくことで、災害時にも利用することができるよう、いわゆる見守りマッピングというのを実施します。そういった形でこちらとリンクさせていただいて地域福祉活動計画を推進していくということで、来年度、捉まえております。

続きまして、24ページをお開きいただきたいと思っております。

こちら一番上のところにございます戦略としましては、地域包括ケアシステムの構築ということで、その取組の一つといたしまして、真ん中にございます具体的取組3-2-1とあります在宅医療・介護連携の推進という形でございます。こちらにつきましては、事業の中身としましては、いわゆる医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者の方等が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けていくためには、地域における医療・介護の関係者が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を提供することが重要でございます。

大阪市におきましては、多職種が協働することによりまして、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制を構築するために、医師会等と連携しながら、医療機関や介護事業所等の関係者の連携推進に努めて取り組んでおります。

実際のその中身でございますけれども、8つの項目がございまして、それにつきましては平成27年度に介護保険法の地域支援事業に位置づけられておりまして、全て実施するということになっています。

8つを具体的に申し上げますと、1つ目として、地域の医療・介護の資源の把握、2つ目としまして、在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討、3番目、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進、4つ目としまして、医療・介護関係者の情報共有の支援、5つ目としまして、在宅医療・介護連携に関する相談支援、6つ目として、医療・介護関係者の研修、7つ目として、地域住民への普及啓発、8つ目として、在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携、こういうのが挙げられています。

具体的取組内容の真ん中をご覧いただきたいのですが、これに基づきまして、港区としま

しては、推進会議の開催、あるいは実務者会議、それと専門職向けの研修会の開催、また、一般向けの講演会の開催等に取り組んでまいりたいと思います。以上でございます。

次、子育て支援の瓦に替わります。

○瓦保健・子育て支援担当課長 続きまして、資料の28ページをご覧ください。

左上に、具体的取組3-3-4と記載しております。少し字が小さくて見えにくいと思いますが、児童虐待未然防止・早期発見機能の強化・DV被害者の支援という取組でございまして、こちらは令和2年度から4年度の3年間の事業ということで、市の重点施策事業といたしまして、全市的にそれぞれの区が区の実情に合わせて重大虐待ゼロに向けた取組を行っているものでございます。

具体的な内容を申し上げますと、この箱の中の左のほうの当年度の取組内容ですけれども、まず、児童虐待は未然防止・早期発見が重要と考えます。区役所の子ども子育て支援室には、ゼロ歳から18歳の子どもの発達ですとか子育ての悩み等の相談に応じております専門の家庭児童相談員というスタッフがおまして、こちらが従来2名の配置だったのですけれども、この事業の予算を活用いたしまして1名増員しまして、この取組内容のところの一番上の区内の保育園・幼稚園等を回らせていただいて、それぞれの園の虐待対応について、どういった対応をされているかということをお聞きして、そのリスクの判断ですとか対応についての助言等をさせていただいて、やはり虐待というのは就学前の幼い子どもさんで起こりやすくリスクが高いため、毎日通っている幼稚園、保育所等で発見いただくことが早期発見につながるということで、今申しました専門スタッフや区役所の職員が回って保育所等の連携強化を図っております。

また、ここに幾つか取組は書いてあるのですけれども、最近では精神的にしんどさを抱えられるお母様が増えてきておまして、メンタル支援を強化するために臨床心理士の資格を持った心理相談員の配置をして相談体制の強化を図っております。

この取組内容の、少し小さな字ですけれども、真ん中辺りに、4歳児へのポピュレーションアプローチを行うという、ちょっと片仮名言葉ですけれども、今、大阪市では、3か月、1歳半と3歳児健診という定期健診を行っておりまして、あと小学校に上がる前の5歳は就学前健診を行っていて、その都度そういう健診時に何かリスク等がある場合は発見できる機会がございますが、ちょうど4歳という年齢が該当する健診がないために発見が遅れるということもございますので、こちらは全市的に4歳児の子どもさんで、ほとんどの方が保育園、幼稚園には通っているのですけれども、中にはどこにも行かれていない未就園児の方がいら

っしゃいますので、そういうご家庭には私どもの職員が訪問いたしまして子どもさんの状況等をお聞きしたり、また、大多数の保育園や幼稚園に行かれていますお子さんに関しましては、施設のほうに出向いて施設で気になるお子さんがいらっしゃらないかということをお聞きしたり、健康教育を実施しているというものでございます。

以上、これは引き続き、2年度からの取組ですけれども、4年度もこの事業を実施してまいりますのでございます。

○朝間生活支援担当課長 それでは私のほうから、朝間でございます。生活困窮者対応の充実につきましてご説明申し上げます。

資料の30ページに記載があるのですけれども、字も小さくて分かりにくいと思うのですけれども、こちらのほうで記載されております「総合的な支援調整の場（つながる場）」というふうに書いております。今日は、役所の機構上もそうですけれども、高齢者の担当、障がい者の担当、子どもの担当、精神保健の担当、生活保護の担当、その他生活困窮者の担当、いろいろもうそれぞれの部署に分かれております。それぞれの部署が持っております情報、高齢者の情報でありますとか障がい者の情報、同一世帯でいろんな課題を抱えられた方が、我々も部署が分かれておりますので、なかなか情報を共有することがこれまで難しかった面がございます。個人情報保護の関係からもなかなか難しかったという実態がございましたが、それを解消するために、生活困窮者自立支援法に基づきまして、こういう情報の横串を刺すと、役所のそれぞれの部署に横串を刺して情報を共有しながら問題解決をするというのが目的となっております。これが機能するように、こちらのほうに細かく記載はされているのですけれども、区民の皆様方が、いろんな困り事が起こったときに、うちのほうに、暮らしのサポートコーナーのほうにご相談いただければ、必要な情報は共有して問題の解決に当たろうというふうな仕組みになってございます。

まずは、前年度も実績等記載されておりますけれども、これを今後も確実に充実させていきたいということで目標とさせていただいております。

私からは以上でございます。

○石田保健福祉課長 議題3、令和4年度施策・事業についての説明は以上でございます。よろしく申し上げます。

○讚井議長 ありがとうございます。

それでは、ここまでの説明で、内容や評価を踏まえた施策などに対するご意見、ご質問のある方は挙手をお願いいたします。

○加藤副議長 よろしくお願いいいたします。先ほど中間振り返りのところで朝間課長のほうからもお話しいただきました、11ページの地域での合同ビラまきというところをご説明いただきました。こちらは地域の活動者の皆様、民生委員、ネットワーク委員会、あと女性部の皆様ですとかのご協力でチラシ、先ほどご説明にもありましたように、ポスティングというのは区役所のほうからも、係長にお越しいただきまして一緒にさせていただいたところです。

その結果、実際に支援や相談につながったというケースも出てきておりまして、我々はどうしても町会に入っておられない方にどのように情報を届けるかというのを日頃考えている中で、広報紙の配布事業との連携などもご協力をお願いしたところです。

広報紙の配布事業というのは本当にそこの中から、おうちへ行ってポストに一軒一軒入れることで発見できる部分というのがあろうかと思えます。実際にそこから相談が上がっている地域もあるということも聞いておりますので、引き続き地域の方へ、気になる方を発見した際に、ぜひご相談を寄せていただきますように、また働きかけをお願いできればと思います。どうぞよろしくお願いいいたします。

○讚井議長 ありがとうございます。

ほかにご意見とかご質問とかございませんでしょうか。

そのほかでもご質問とか、この内容以外や区政に関してございましたら。

ほかにないようでしたら、何か事務局から補足の説明等、ございますでしょうか。

○朝間生活支援担当課長 生活支援担当課長の朝間でございます。

先ほど加藤副議長からございましたように、ビラまきというのは、地道な、もうこれをやったら終わるといったものではなくて、今後ずっといろんな形で区民の皆様方に困ったときこうすればいいよというのを、いろんな情報を発信し続けていこうと思っておりますので、引き続き、区内の関係機関の方とか、協力していただける個人の方でも結構ですし、お願いばかりになるのですけれども、区役所の間人だけでは到底無理になってきますので、皆様のご協力の下、引き続き行動していきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いいいたします。

○筋原区長 中間報告振り返りや予算のこと以外でも、例えば、もう今年も本当にコロナで大変だったと思うのですけれども、コロナ対応でここが気になるとか、これが分かりにくかったとか、どういうご意見でも結構ですので、せっかくの機会ですので、ご意見を聞かせていただけたらと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○森田オブザーバー 主任児童委員の森田です。

この場で言うのが適切かどうかは分からないんですけども、先日、支援員さんの研修会に出たときの先生のお言葉が、福祉行政というのは行政の担当者がころころ変わると、やはり意図どおりのことにつながっていかないということで、私も主任児童委員をさせていただいて、子育て支援の担当の方が変わると、今までお話しできていたことができなくなったり、今まで聞いていなかったことを瓦課長はちゃんと教えてくださったり、何かすごく、担当の方によって本当に変わってくるなと感じています。

なので、なるべくなら同じ方にずっと受けていただきたいなというふうに、もっとほかの部署で輝けるところがあるかもしれないんですが、港区のために、同じ方に引き受けていただきたいなと思って発言させていただきました。

以上です。

○筋原区長 ありがとうございます。おっしゃるとおり、職員の配置の問題で、私はなるべく長く配置したい派で、自分もなるべく長くいたい派ですけども、どうしても定期異動や退職とか、一定数を所属を超えて異動させないといけないというルールとかがあるのですけれども、これは本当にもうおっしゃるとおりで、行き届いた対応ができる職員がいるときは本当に地域の皆さんと相乗効果で熱が上がって、うまくいろいろなことが進むと思いますので、長くいてもらうということも一つですけども、職員の質をきちんと保つということにも努めてまいりますのでよろしくお願いします。ありがとうございます。

○瓦保健・子育て支援担当課長 ありがとうございます。福祉というのは、生活している皆さんは24時間地域での生活の中でいろんなことが起こっていて、私ども区役所は残念ながらといいますか、9時から5時半の業務でございます。当然それ以外でも対応は行っておりますが、やはり日々起こる地域の福祉課題は地域の皆様のお力を借りないとそこは解決できないと思っておりますので、引き続き、今日おいでの皆様、代表としてお越しいただいていると思っておりますが、お力を借りて一緒に港区を安心して住みやすいまちにしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○讚井議長 ありがとうございます。

ほかにご質問等ございませんでしょうか。

○藤原オブザーバー 港区地域支援調整チーム障がい者支援専門部会の藤原と申します。2点ほどお願いがございます。

1点目なんですけれども、今年度のコロナのワクチン接種について、実は障がいのある方が利用される事業所様向けに、実施の状況がどうやったかとか、それからどのような支援が

要ったかというようなアンケート調査を取っております。その結果は自立支援協議会で共有して、石田課長様にもご覧いただいているという状況があります。やはりかなりいろんな支援が必要だということが浮かび上がっておりますので、そちらを共有して認識していただきまして、今後必要な支援を、求められるところについてはぜひお願いしたいなというふうに思っています。それが1点です。

2点目なんですけれども、今年度、障害者差別解消法が改正になりました。これまで自治体等が義務を課せられていた部分が今後、一般の事業所様にも義務化されるというような流れになっています。施行までもう少し余裕があるのですけれども、そのあたりを少し地域にも啓発する必要があるかと思っておりますので、何らかの機会ですういった取組についてご検討いただけたらなと思っております。よろしくお願ひいたします。

○石田保健福祉課長 保健福祉課長、石田でございます。

今、ご意見をいただきました、まず1つ目ですけれども、先だつての会議のほうでも状況をお伺いたしまして、アンケートを取っていただいているということで、ありがとうございます。ただオール大阪の仕組みとしては、そういった仕組みは現在ないところですが、当然全ての方につきまして、いわゆる任意ということではございますが、希望する方にワクチン接種が行き渡るようにはしたいと思うのですけれども、なかなか直接現地へという仕組みができていないもので、ただそういった話、需要があるというのは港区だけには関わりませんので、これはもう先だつて保健所、健康局のほうにも意見具申はさせてもらっているところでございます。

2点目につきましても、今後もちろん検討はさせていただきますのでよろしくお願ひします。

○筋原区長 ありがとうございます。1点目については、大阪市全体で対応すべきこともあるのですけれども、多分いろいろ細かい問題点をお聞きしたら、港区独自のいろいろなネットワークでもきめ細かい対応ができる部分というのはきっとあるのじゃないかなと思っております。そういうところで、コロナのときは正直もう区も保健所もパンク状態にはなりましたが、その中でもできるだけことは、まずお聞きをして、対応していきたいと思っております。

それから2点目については、港区は合同地域会長会というのが毎月ありまして、全地域の地域活動協議会、地域振興会、地域社協の会長さん方が一堂に会して情報交換をしております。そういう場がありますとか、民生地区委員主任児童委員の委員長会など、今日ご出席の

森田さんが出ていただいておりますけれども、いろいろな関係者の出られる場があるので、そういうところも活用して周知に努めさせていただけたらと思います。よろしくお願ひします。

○讃井議長 ありがとうございます。

それでは、引き続きまして議題4、その他について、事務局より何かありましたらご説明お願ひします。

○瓦保健・子育て支援担当課長 子育て支援担当の瓦です。

資料5のほうをご覧くださいませでしょうか。カラーの広報紙の特集版に挟んで1枚資料を入れさせていただいておりますので、右上に資料5と書いているものをご覧くださいませ。このA4の一枚物のほうをご覧くださいませ。

今、国の厚生労働省では、福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチームにおいて、ヤングケアラーの支援というのを重点的に検討、取組を進めているところです。

皆様、ヤングケアラーという言葉はお聞きになられたことはございますでしょうか。結構最近新聞等でも取り上げられているのですけれども、定義はその下の青い箱の中に入れておりますように、「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども」となっております。例えば認知症や介護が必要なおじいちゃん、おばあちゃんがいると、その見守りとか話し相手をしているとか、最近、先ほども申し上げましたが、結構お母さんに精神疾患、精神障がいのある方が多いケースが見受けられ、また、父親がアルコール依存症であって、親が慢性的な病気や障がいがあるとか、そのような兄弟がいるときに、家事や年下の兄弟の世話、精神的なサポートをする。また、外国人のご家庭で、子どもさんは学校に行くので割と早くに日本語を覚えますが、ご両親がなかなか日本語が覚えられないときに、様々な暮らしに関する通訳を子どもがすることになるとか、アルバイトをして家計を助けるといった、これは一つの事例ですけれども、こういうときに、そもそも様々な家庭の事情があつて、子どもが家の手伝いをするということは決して悪いことではありませんし、むしろ褒められることではあります、それが過度にわたることで子どもらしい生活が送れなくて心身に影響を及ぼす場合があるということでございます。

そのまま資料の下のほうですけれども、2020年度に国のほうでアンケート調査をしまして、その結果、黄色い箱の中に、なかなか回答率も上がらなかったのもこの数字が正確かというところはございますが、約20人に1人がそういった家族の世話をしているという結果が出ま

した。

こういうことが今までなかなか可視化されてきていなかったことが今とても課題になっていまして、ただ子ども自身があまりそのことを自覚していない、問題視していないということが今まで潜在化していた理由にもなっておりまして、資料の箱の下、どういった影響が考えられるかと申しますと、学校生活では、家族の世話をするので遅刻や欠席とか、宿題を忘れる。そのことが、学校から見ればその家庭状況を把握していないときに、怠けている、怠学と理解されることがあったりすることで不登校につながっていく。また、友人関係もなかなか友達との時間が持てないので良好な友人関係が築けないですとか、健康面とか将来にわたっても、自分の進みたい方向を諦めてしまうというようなことが考えられるところでございます。

裏面をご覧ください。

それで、そういった課題と支援をどうしていくかということで、大阪市でも副市長をチームリーダーとしまして、福祉や子ども、教育の関係局によりプロジェクトチームをつくりまして、まずは課題であります実態把握をしていこうということで、今年度は中学・高校生を対象に現在調査中でございます。その結果が出ましたら分析をして、今後の支援策を検討していこうというところで、今進んでおります。

また、なかなかこういった課題が知られていないということで、やはり普及啓発が大切であるということで、まずは大阪市の職員ですとか教員、民生委員や主任児童委員の皆様、また、こどもサポートネット推進員がヤングケアラーに関しての研修を受けるとともに、広く市民の皆様にも周知をしていくことで知っていただくことが大切ということで、今回、区のほうでも、11月が児童虐待防止推進月間ということで、今お配りしていますこの広報紙でもヤングケアラーのことを入れさせていただいているところでございます。

黄色い枠の中にありますが、福祉・介護・医療・教育の関係機関が連携することで、とにかく今まで発見されなかったヤングケアラーの問題を早期発見して、子どもらしい生活を送れることに着目して、家族全体への適切な支援につなげることを目指していきたいと思っております。

支援策としては、下の箱にございますように、幾つかありますがそういった子どもが安心していられる居場所づくりですとか、まずは悩んでいることを相談できる相談体制とか、中学・高校生でしたら就職支援、進路支援ということも必要かと思っております。

来年度の大阪市の取組としましては、今検討しておりますのは、まずは学校現場で一番発

見していただきやすいので、学校の中で相談できるような体制をつくるべく今検討しているところでございます。一番下、これは枠で囲んでおりますが、まさに本日おいでの皆様方です。やはりそういった子どもがいるのではないかということで、子どもが独りで抱えてしまわないように、周囲の大人たちがそのことを理解して、もしそういう気がかりなお子さんがあるようであれば、この窓口は私ども子育て支援室でございますので、ぜひ私どもにご連絡いただきたいと思います。また、子どもさん自身も独りで悩まずに、直接ご連絡いただければ、なかなか解決策というのは難しいですが一緒に話を聞いて考えていきたいと思っておりますので、ぜひご理解いただきまして、そういう子どもたちがいれば区のほうにつないでいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○讚井議長 ありがとうございます。

事務局からの説明について、ご意見、ご質問があるようでしたら挙手をお願いいたします。そのほかもございませんでしょうか。

ちょっと遅れてこられた山田先生、一言自己紹介をお願いしていいですか。

○山田委員 すみません。港区医師会の山田です。診療の関係で少し遅れまして、非常に申し訳ないと思っております。途中からなので、もう一つ全体が把握できていないので、次回からまたよろしく願いしたいと思います。

○讚井議長 ありがとうございます。よろしく願いいたします。

それでは、これで本日の議事を終了したいと思います。委員の皆さん、本当にご協力ありがとうございます。スムーズに進行できましたことに対してお礼を申し上げます。ありがとうございました。

○橋本保健福祉課長代理 港区の福祉課題などにつきましてご議論いただき、誠にありがとうございました。

委員の皆様方におかれましては、来週の24日水曜日午後6時半より、港区区政会議全体会議をこの場所で開催いたしますので、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。本日お渡ししました資料につきましては、来週の全体会議でも使用しますので、お手数ですがご持参いただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、港区政会議福祉部会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。